国際ダークスカイ協会(IDA)と星空保護区®認定制度の概要

IDA 東京

国際ダークスカイ協会 東京支部(IDA東京)
東洋大学 経営学部
越智信彰

2019.7.11　宙ツーリズム第2回シンポジウム

星空保護区®認定制度：ダークスカイプレイス･プログラム

光害のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える制度

国際ダークスカイ協会 が2001年に始めた「ダークスカイプレイス・プログラム」（和名：星空保護区認定制度）は、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える制度です。認定には、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められます。そしてそれらは、自治体・観光業界・産業界・地域住民など多くの人々の理解と努力によって支えられます。

また、認定の公表により、夜空保護の重要性、光害問題の現状と対策について、広く啓蒙することを目的としています。

ダークスカイプレイス・プログラムは2015年4月、全米環境専門家協会NAEP (National Association of Environmental Professionals) から「**National Environmental Excellence Award**」を授与されました。

ダークスカイプレイス・プログラムの本サイト(英語)は **こちら**。

2018年3月　日本初の「星空保護区」誕生
西表石垣国立公園（石垣市･竹富町）

ダークスカイプレイスのカテゴリー　ダークスカイプレイス認定地リスト

https://idatokyo.org/hogoku

プレスリリース：アリゾナ州「化石の森国立公園」をダークスカイ・パークに認定

国際ダークスカイ協会は、アリゾナ州北東部のペトリファイド・フォレスト国立公園（化石の森国立公園、Petrified Forest National Park）をダークスカイ・パークに認定しました。

詳細は、IDAによるリリース(2018.6.21) をご覧ください。
Arizona's Petrified Forest National Park Becomes World's Newest International Dark Sky Park

紹介ページ： **Petrified Forest National Park (U.S.)**

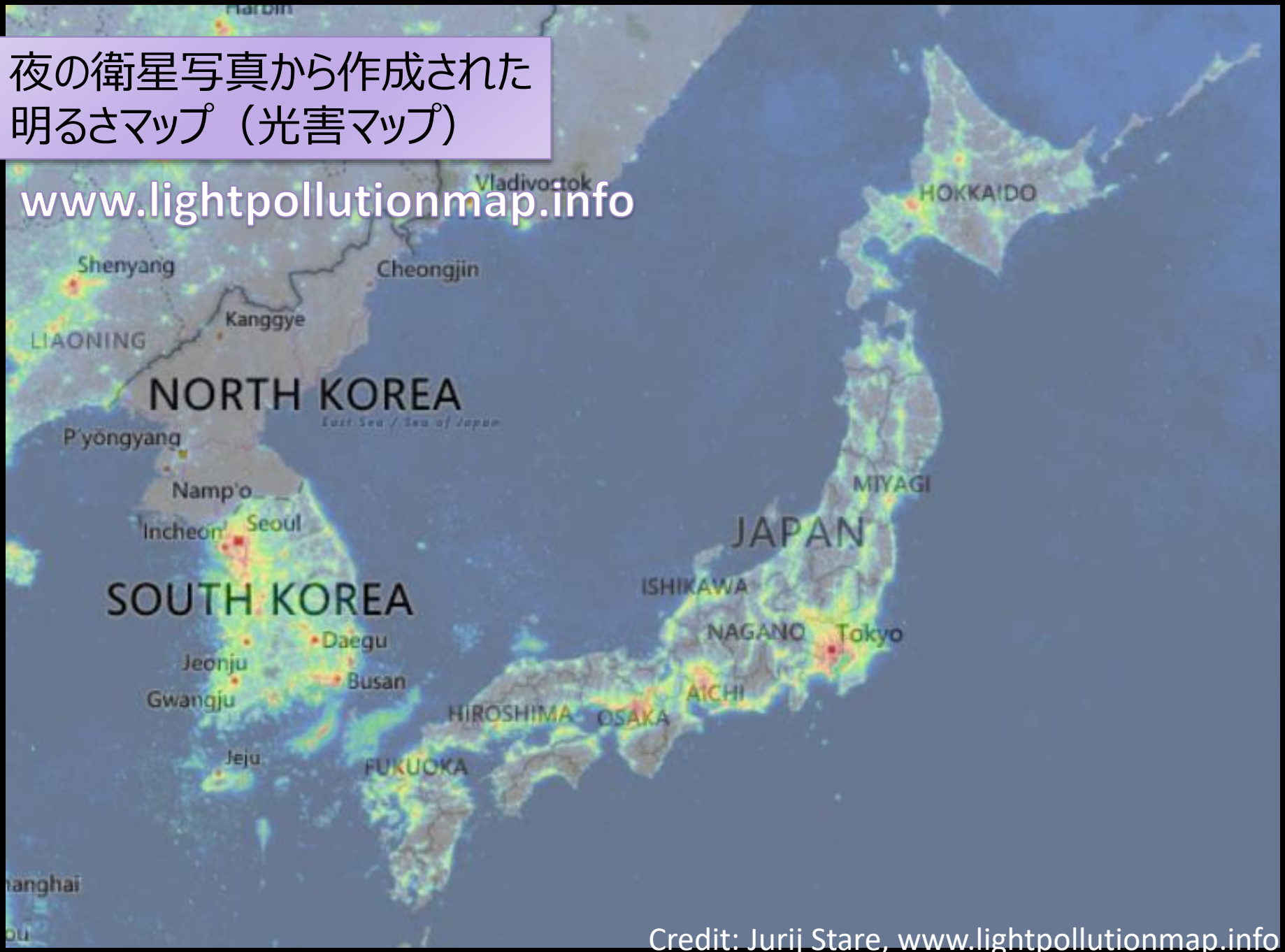
【星空保護区認定制度について】
国際ダークスカイ協会が2001年に始めた「ダークスカイプレイス・プログラム」（和名：星空保護区認定制度）は、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える制度です。認定には、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められます。「ダークスカイ・パーク」「ダークスカイ・コミュニティ」など6つのカテゴリーがあり、全てのカテゴリーの認定地を総称して、国内では「星空保護区」と表記しています。
星空保護区認定制度ウェブサイト **http://idatokyo.org/hogoku**

IDA東京事務局

More Posts - Website - Twitter

夜の衛星写真から作成された明るさマップ（光害マップ）

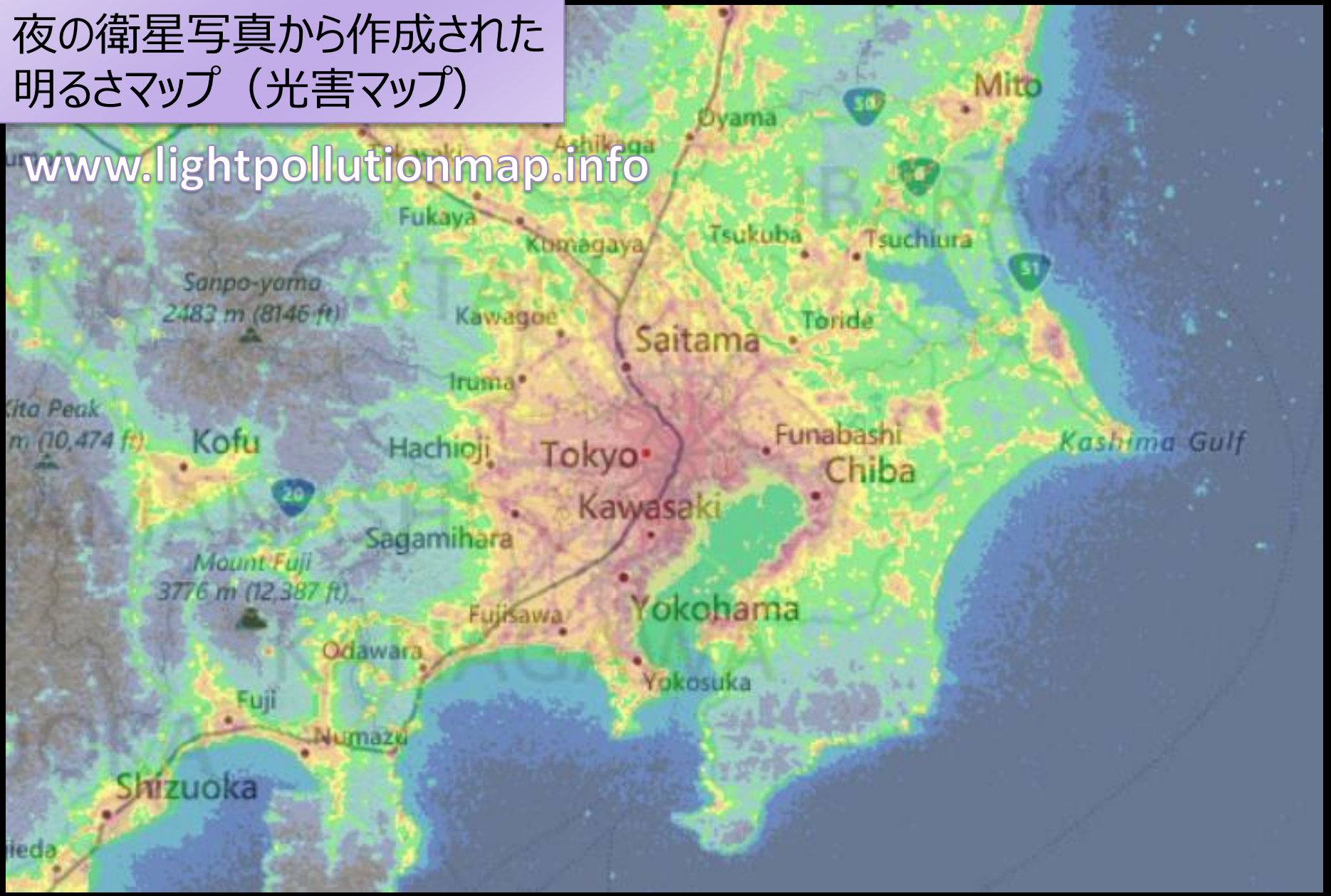
www.lightpollutionmap.info



Credit: Jurij Stare, www.lightpollutionmap.info
Earth Observation Group, NOAA National Geophysical Data Center

夜の衛星写真から作成された明るさマップ（光害マップ）

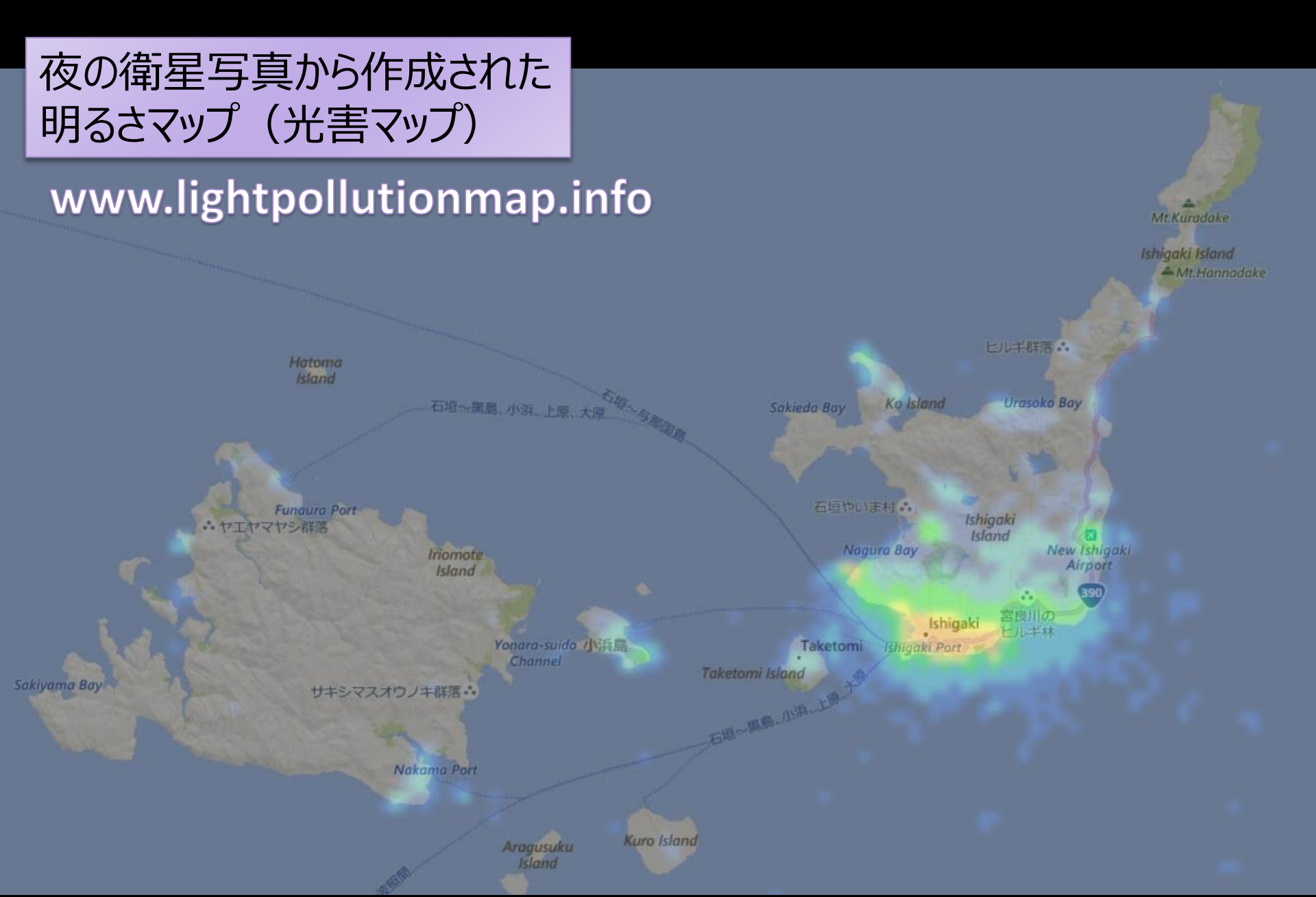
www.lightpollutionmap.info



Credit: Jurij Stare, www.lightpollutionmap.info
Earth Observation Group, NOAA National Geophysical Data Center

夜の衛星写真から作成された明るさマップ（光害マップ）

www.lightpollutionmap.info



Credit: Jurij Stare, www.lightpollutionmap.info
Earth Observation Group, NOAA National Geophysical Data Center

国際ダークスカイ協会 (IDA)

- 1988年設立の米国NPO。現在、世界に60以上の支部
- 光害に関する様々な活動（フィールド調査、星空保護区認定制度、条例制定支援、啓発キャンペーン etc.）
- メンバーは天文関係者を中心に、照明技術者、環境学者、教育者、法律家など多岐にわたる

https://darksky.org/

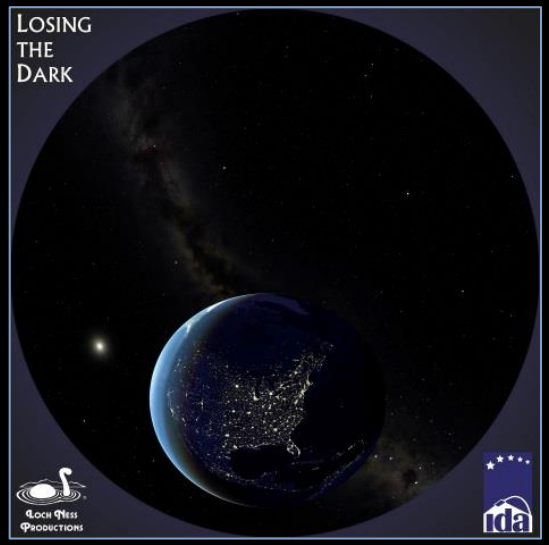
光害啓発ムービー
Losing the Dark（失われゆく暗闇）

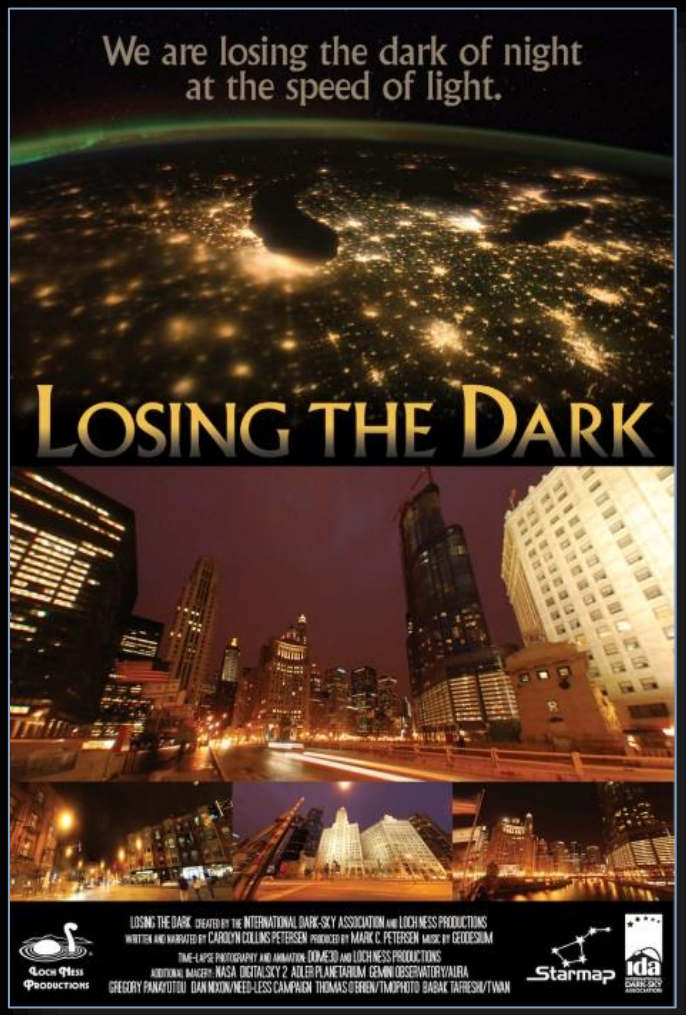
IDA制作、6分半

https://idatokyo.org/?p=287

ドーム版・フラットスクリーン版

サイトから無料でDL、上映可能

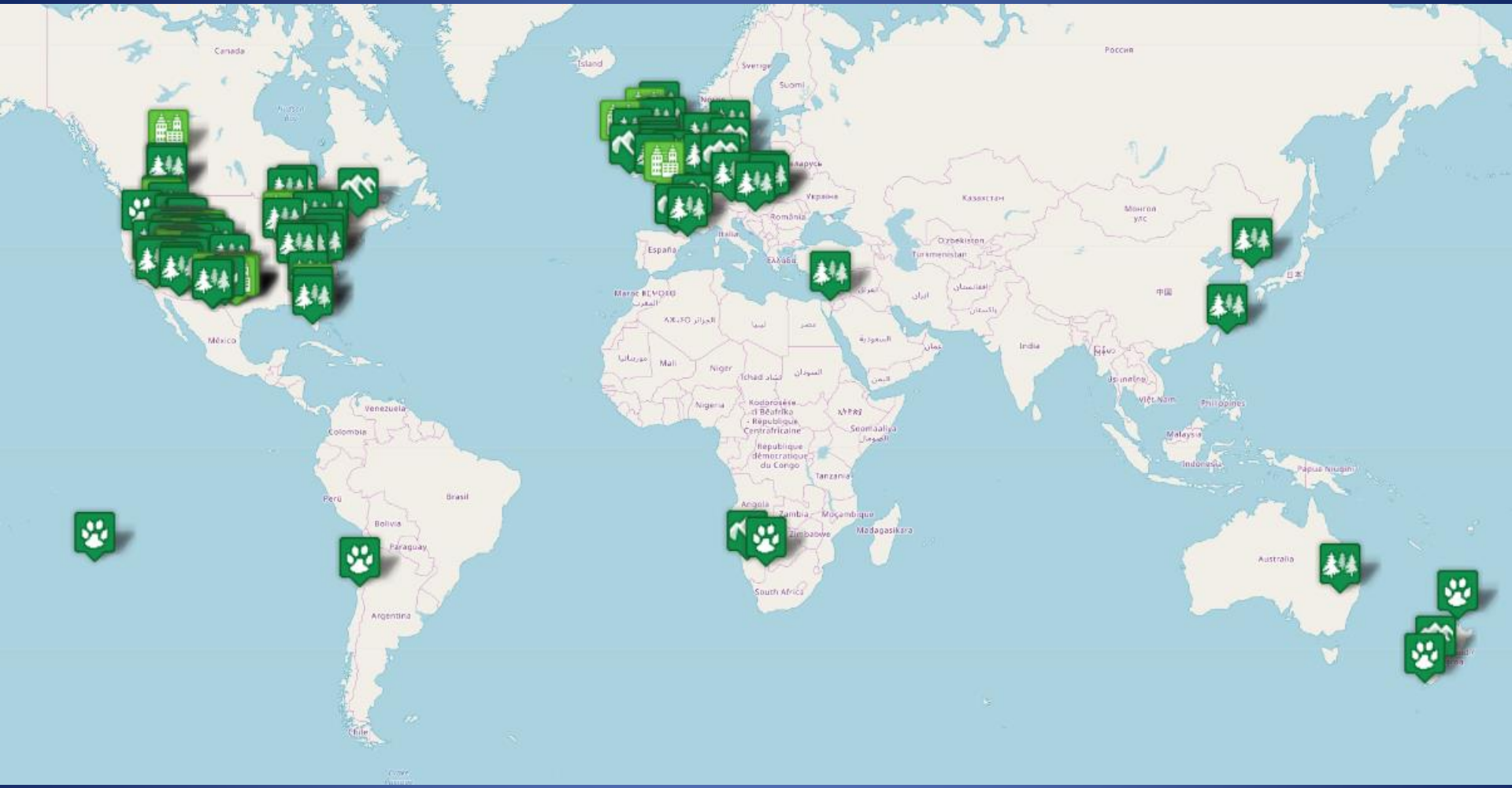




暗い自然の夜空＝美しい星空を保全するための取組を、世界基準で評価する国際的な認定制度

認定には、
- ✓ 屋外照明に関する厳格な基準のクリア
- ✓ 暗い夜空を保護する地域の取り組み
- ✓ 人々がその夜空を体験できる環境整備　　等が求められる

これまでに認定された星空保護区



ダークスカイパーク72、ダークスカイリザーブ13
ダークスカイコミュニティ22、ダークスカイサンクチュアリ10
ディベロップメント4

計121ヶ所

2019.7.6現在

星空保護区のカテゴリー

全てのカテゴリーの認定地を総称して、国内では「星空保護区」と表記しています

1. ダークスカイ・コミュニティ International Dark Sky Communities [22ヶ所]

町や市といった自治体単位が認定対象。質の良い屋外照明の使用に関する条例の施行、光害についての活発な教育啓発活動、地域住民の夜空保護への支援など、優れた取り組みが実施されており、周辺地域への模範となる地域。

2. ダークスカイ・パーク International Dark Sky Parks [72ヶ所]

自然公園・森林公園・エコパーク等として運営されている場所が認定対象（公有地・私有地を問わず）。自然保護のために質の良い屋外照明を使用し、非常に暗い環境と美しい星空が保たれており、ビジターに対して星空観察や自然観察のイベント、光害に関する教育プログラムなどを提供している場所。

3. アーバン・ナイトスカイプレイス Urban Night Sky Places [0; 2018新設]

暗い夜間環境を保護・推進するための優れた取り組みをしているが、近隣の明るい都市の影響により他のカテゴリーでは認定が受けられない場所（都市公園、広場、展望台など）。光害に配慮した質の良い屋外照明利用の模範となり、その普及を促すとともに、都市の人々が星空を楽しめる場所を提供することを目的とする。

4. ダークスカイ・リザーブ
5. ダークスカイ・サンクチュアリ

面積要件700km^{2}以上、国内では非現実的

認定基準の一部（ダークスカイ・パーク）

- 申請主体が設置する屋外照明に対し、以下を定める指針が運用されていること。
  - ✓ 500ルーメン以上のランプは、完全遮蔽タイプの器具を使用し、遮蔽を使用しない場合は、センサーやタイマーによって点灯を最小限にする。
  - ✓ ランプの色温度は3000K以下。

（申請時点で既存の67%以上が基準に準拠し、さらに認定後5年以内に90%、10年以内に100%が準拠すること。）

- 光害防止の意識醸成を図るイベント（星空観望会など）が定期的に実施されていること。

- 夜空の明るさを継続的に測定すること。

星空保護区認定の意義

➢ 星空、環境に対する国際ブランドの獲得

世界基準での評価を得ることで、地域の新たな価値が国内外に知れ渡るとともに、住民の地域に対する誇り、ロイヤルティ向上に繋がる。

➢ メディアの注目、観光産業への効果

国内では希少な星空保護区としてメディア露出が増え、星空が地域の観光資源・財産となる。特に、宿泊を伴う滞在型観光に高い効果が得られる。

➢ 新たな環境問題に積極的に取り組む地域としての評価

国内ではまだ認知度が低いが、今後のまちづくりのスタンダードとなっていくと予想される「光害対策」に先進的に取り組む地域として評価される。

➢ 自然環境、星空環境の将来世代への継承

都市部ではすでに失われてしまった美しい星空・自然環境を、次世代・将来世代の子供たちまで残していくことができる。

First International Dark Sky Place Established In Japan

on APRIL 1, 2018

Stargazers view the summer Milky Way from Iriomote island in Iriomote-Ishigaki National Park, Japan. Photo by Coral-foundation Iriomote inc.

Iriomote-Ishigaki National Park, located in the Okinawa Prefecture, Japan, has been designated an International Dark Sky Park. It is the first location in Japan to receive accreditation through the International Dark Sky Places Program, and only the second such designation to date in all of Asia.

認定プロセスに関するFAQ

Q：　認定されるために、どのくらいの費用がかかりますか？

A：　IDAへの申請料や更新料は必要ありません。申請書の準備段階で、屋外照明の交換・補修費、照明調査・夜空調査の調査費、申請書の英訳費などが必要となります（ここに挙げているものが全てではありません）。現状の屋外照明の種類や数によって、その経費は様々であり、具体的な金額の目安を挙げることはできません。

Q：　認定までどのくらいの期間がかかりますか？

A：　屋外照明の現状、関連活動（天文イベント・星空ツアー・エコツアー等）の実績、自治体の支援状況などにより様々ですが、典型的には申請書の提出までに1～3年、審査に3～6ヶ月程度かかります。

Q：　申請書を提出後、審査はどのような流れで行われますか？

A：　2ヶ月毎に設定されている提出期限までに提出された申請書に対して、IDAの専門スタッフと過去に認定された地域のスタッフ等から成る審査委員会が組織され、申請書の内容に基づき審査されます。現地への訪問調査は通常行われません。

Q：　認定されたら、どのような義務が発生しますか？

A：　継続的な教育啓発活動のほか、夜空の暗さをモニタリングし、明るさが増していないことを確認することが必要です。それらの実績を年１回報告書（英語）にまとめ、IDAに提出します。基準を満たす環境や活動が維持されていれば、認定に有効期限はありません。

詳細は. . .

星空保護区認定制度

https://idatokyo.org/hogoku

IDA（英語サイト）

https://www.darksky.org/

→ OUR WORK

→ International Dark Sky Places

ご清聴ありがとうございました